

**令和元年度 事務事業総点検シート(1)**  
**[平成30年度事務事業]**

<b>一般会計</b>		<b>事務事業分類</b>	A 一般事務事業
<b>事務事業名</b>	障害者文化芸術講座	<b>シート番号</b>	11-168
<b>担当部署名</b>	健康福祉 局 障害福祉 部 障害者支援 課	<b>評価責任者(課長名)</b>	増田

**Ⅰ. 基本情報**

<b>基本情報</b>	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無	
	2	事業開始年度	平成 27 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律				
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画				
5	事業実施の経緯	平成27年3月末に閉鎖した「ちぬが丘障害者福祉センター」で行っていた、障害者が集い活動できる場を提供することで、障害者の社会活動や交流を図ることを目的に平成27年度から本事業を実施					

**Ⅱ. 事業概要**

<b>事業概要</b>	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	市内在住の障害者				
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	障害者の文化芸術活動や集う場所を提供することで、社会参加の促進や当事者間の交流を図る。				
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	障害者が豊かな社会生活を送れる機会を創出し、集い活動できる場の提供として障害者を対象とした講座を開催する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 社会福祉法人 堺中央共生会					

**Ⅲ. 投入量**

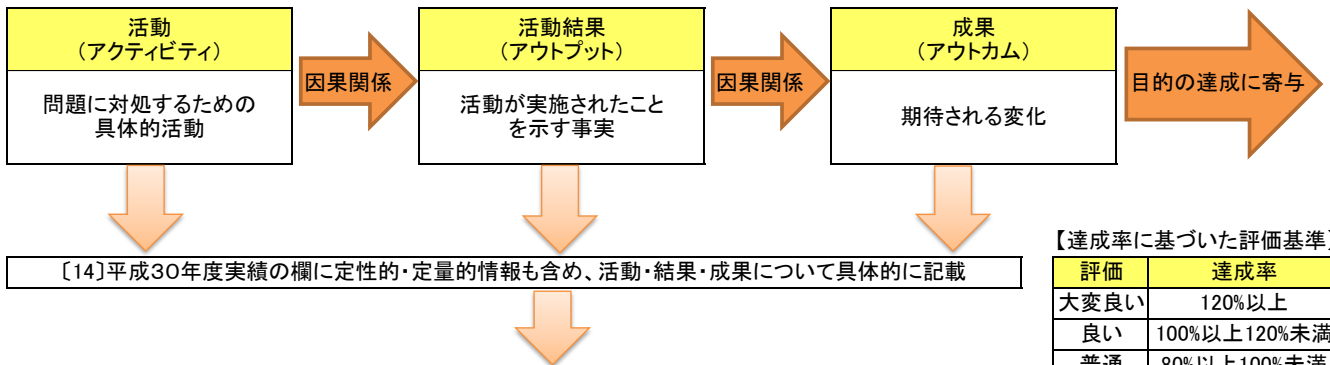
	項 目	単 位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
<b>事業コスト</b>	11 事業費 (a)	千円	412	1,450	1,243	1,521	
	主な事業費内訳	役員費等	千円	160	324	71	79
		講座開催業務等委託	千円		850	902	962
		光熱水費負担金	千円		276	270	480
		報償費	千円	252			
		国・府支出金	千円				
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( )	千円				
		一般財源	千円	412	1,450	1,243	1,521
12	人件費 (b)	千円	1,640	820	820	810	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	2,052	2,270	2,063	2,331	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	障害者文化芸術講座	シート番号	11-168
-------	-----------	-------	--------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>平成30年度は年間を通して、次の2講座を各20回ずつ開催し計18人が参加した。また、講座を通じて参加者が互いにアドバイスを行うなど、事業の目的である当事者間の交流を図ることもできている。</p> <p>①「手芸・編み物講座」(参加者10人) 個々の能力により差はあるが、1人あたり年間6~7種類の作品をつくることができた。</p> <p>②「フラワーアレンジメント講座」(参加者8人) 毎回、季節の草花による作品を1つ作製した。</p>						
	15	参加人数	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
					目標値	-	-	-
					実績値	12	18	18
					達成率	-	-	-
				評価	-	-	-	
		算出方法・設定根拠など		障害者文化芸術講座の参加者数				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				目標値				
				実績値				
				達成率				
				評価				
		算出方法・設定根拠など						

#### 業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>少人数で実施していることで、一人ひとりのレベルに合わせた丁寧な指導ができている。</p>
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。